古石ひでさと5期目に向かっての議会活動

古石 ひでさと 後援会だより

URL：http://古石.com/

第　３４４５号
発行令和２年１２月
古石　ひでさと後援会事務所
岩見沢市幌向南１条１丁目
TEL　２６－２２２６

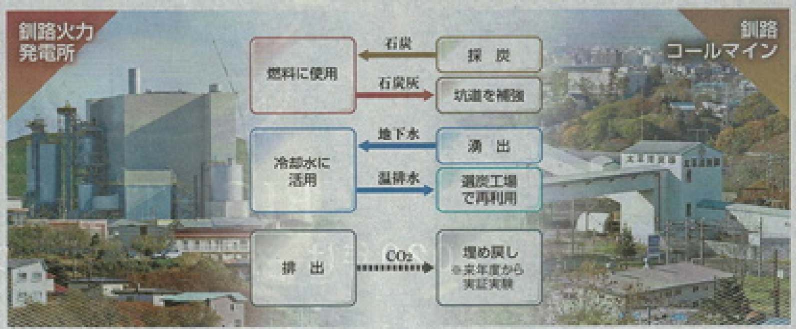
市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

地場産石炭活用

環境に配慮 釧路火発始動

地場産石炭活用 坑内水や灰 再利用



釧路火力発電所と釧路コールマインの関係図

フォーカス FOCUS

【釧路】国内唯一の坑内掘り炭鉱がある釧路市で、地場産の石炭を使う釧路火力発電所が営業運転を始めた。炭鉱の地下水を火発の冷却水に使い、その温排水を選炭工場で再利用するほか、二酸化炭素（CO2）の坑道への埋め戻しを目指すなど環境にも配慮。政府が2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする目標を掲げ、石炭に逆風が吹く中、独自モデルの構築を模索する。（高橋俊哉、今井潤）

卸電力価格下落 収益確保が課題

石炭を積んだトラックが太平洋に面した高台の発電所に乗り入れていく。専用鉄道で積み出し港まで運んでいた釧路では、これまで見られなかった光景だ。

釧路火発は釧路コールマイン（KCM）の石炭を年約25万㌧使用。同社の年間生産予定量の8割強に当たり、運転業務は同社子会社が受託した。出力は11万2千㌔㍗で、年間想定発電量は一般家庭約20万世帯分という約8億㌔㍗時を計画する。当初は新電力のF－Power（東京）に売電する予定だったが、同社が道内の大口市場から撤退したため、北海道電力や別の新電力2社のほか、余剰電力を取引する日本卸電力取引所を通して売電している。

CO2抑制に力

釧路火発の特徴は、こうした石炭エネルギーの地産地消に加え、炭鉱や火発の「やっかいもの」を有効活用することにある。

炭鉱の坑内に湧き出る地下水は1日数千㌧。火発はこのうち約3千㌧の供給を受け、発電所の冷却水に使う。使用後の温排水は1日1500㌧を炭鉱に戻し、選炭作業で使う水に再利用する。年間3万3千㌧を見込む石炭灰は、坑道の充填に使い、地盤沈下やガス噴出の防止に役立てる。

CO2に関しては、火発燃料の3割に輸入パームやシ殻などの木質バイオマスを使い、実質的な排出量を抑制。KCMでは来年度から、経済産業省がCO2と石炭灰を結合させた物質で古い坑道を埋め戻す実証実験を始める予定で、ベトナムなどの研修生に採炭技術を伝える事業に加え、将来的にはCO2埋め戻しの技術移転も目指す。

エネルギー問題に詳しい国際大大学院の橘川武郎教授は「海外からコストをかけて石炭を調達してきた日本は効率良く石炭火力を使える技術で世界をリードしてきた。KCMでのCO2埋め戻し技術が確立すれば、世界のモデルになる可能性がある」という。

騒音問題相次ぐ

環境対策に力を入れる釧路火発だが、CO2以外の課題もある。売電先が日本卸電力取引所に変わり、価格変動の影響を受けやすくなった。19年度の道内卸電力価格は前年度より3割ほど値下がりし、今年11月の平均価格は前年同月比44％安とさらに低下。収益環境は厳しくなっている。

また、当初は11月1日に営業運転を始める予定だったが、6月の試運転以降、近隣への騒音が続き、原因を調べるため運転停止を繰り返してきた。営業運転が今月4日に遅れた理由について、火発は「性能試験を慎重に行ったため」と説明。「騒音で工期が遅れたわけではない」とするが、騒音問題や売電先の変更が影響したとの見方もある。

近隣17町内会でつくる湖南地区連合町内会の吉田一男会長（84）は「地元の石炭を活用して発電する意義は理解できる。今後は騒音問題を起こさず、地域に受け入れられる発電所になってほしい」と話している。

釧路火力発電所　KCM、太平洋炭鉱の親会社だった太平洋興発、投資ファンドのIDIインフラストラクチャーズ、F－Powerの4社が2015年6月に建設計画を発表し、17年12月に着工。IDI社が設立した同名の会社が運営する。石炭とバイオマスの混焼型で、津波被害を受けにくい標高30㍍地点にある。

釧路コールマイン　太平洋炭鉱の採炭事業を引き継ぐため、地元経済界が出資して2001年12月に設立。02年4月に採炭を始めた。採炭技術を海外に伝える国の事業で、02年度からベトナムと中国の研修生を受け入れている。20年3月期の売上高は36億5200万円。石炭生産量は22万300㌧。従業員は158人。

地産地消 経営改善狙う KCM

釧路火発を誘致したKCMの狙いは、石炭の地元消費による経営改善だ。従来は大半を本州の発電所に供給してきたが、船による輸送コストが利益を圧迫。石炭産業の維持・発展を目指し、11年に策定した構想に火発建設を盛り込んだ。

東日本大震災の影響で電力不足に陥った同年以降、全国で石炭火発の新設計画が相次いだ。釧路火発もその一つだが、出力が国の環境影響評価の対象となる基準（11万2500㌔㍗）をわずかに下回るため、「アセス逃れ」との指摘も受ける。ただ、道東・釧路には石炭の利用促進に理解を示す声も少なくない。

KCMは経営環境の厳しさから「5年持たない」との見方もあったが、海外向け研修事業や自動車リサイクル、ごみ収集運搬など新規事業にも踏み出してきた。菊池博明社長は「石炭灰とCO2の再利用による環境対策で研修事業のステージを高められ、『研修対象国の発展の種になる』と期待している」と話している。

2020年（令和2年）12月16日（水曜日）

岩見沢、三笠 積雪1㍍超

列車やバス運休相次ぐ

道幅が狭くなった三笠市の市道で拡幅作業を進めるロータリー車＝15日午後2時20分

【岩見沢、三笠】冬型の気圧配置が続き、上空に真冬並みの寒気が入っている影響で、空知管内は15日も雪が降り続き、岩見沢市では午後6時の積雪が101㌢に達した。三笠市でも同日午前、市の独自観測で100㌢を大きく超えた。道路などの除排雪作業が追いつかず、列車や路線バスの運休が相次いだため、多くの市民に影響が出た。

札幌管区気象台によると、同日午後6時の積雪は岩見沢市が101㌢で平年の3倍以上、滝川市36㌢、夕張市35㌢など。気象庁の観測機器が未設置の三笠市は1972年から、市独自に積雪と降雪量を観測しており、同日午前7時半に三笠地区で107㌢、幾春別地区で135㌢を記録した。

岩見沢市は同日、バス路線を中心に延長約6㌔で排雪をしたが、予定分を完了するには1週間以上が必要という。14日から道路の拡幅に当たり、排雪は17日からを予定する三笠市は「例年の排雪開始は1月で、12月前半にこれだけ降るのは経験がない」と話す。

JR北海道は札幌―旭川間の特急16本が運休。岩見沢駅発着の函館線や室蘭線の普通列車も20本以上が運休した。北海道中央バスも岩見沢市内の7路線のうち5路線と、岩見沢から三笠市幾春別町を結ぶ三笠線の計約100本が運休した。奈井江町から岩見沢市内の高校にJRで通う、初山花菜さん（17）は「バスが運休で、岩見沢駅からはタクシーで登校した。明日はもう少し早く家を出ようと思う」と話した。

同気象台によると、16日も岩見沢やその周辺で雪が降りやすく、多いところでは同日午後6時までの24時間に50㌢の雪が降るという。（石橋治佳、石川実和）

管内1人感染 新型コロナ

道が15日に発表した新型コロナウイルスの感染者で、空知管内では新たに年代性別非公表の1人の感染が確認された。道によると軽症で、感染経路は不明。入院などに向けて調整している。道が居住地を公表している管内の感染確認は340例となった。

一方、クラスター（感染者集団）が発生している岩見沢市の北海道中央労災病院は、中止していた全診療科の外来診療と、救急患者の受け入れを16日から再開する。

議会だより

コロナ対策で開票作業の人員減◇岩見沢市　定例会は15日、3氏が一般質問。

次期衆院選での開票作業時の新型コロナウイルス感染対策について、市選管の植田淳一委員長は「距離を確保するため、人員を減らすことを考えている」と説明。その上で「（減員による）大幅な開票作業の遅れはない」と述べた。投票所では、担当職員のマスク着用や消毒用アルコールの設置に加え、間隔を空けた記載台の設置、使い捨て鉛筆の利用を検討していることも明らかにした。

次期総計の目標人口「1万人目安」◇栗山町　定例会は15日、6人が一般質問した。2023年度から30年度までの町第7次総合計画について、佐々木学町長は「来年8月をめどに策定方針を示したい」とした上で、目標人口については「若者移住、定住政策などをさらに磨き、1万人を一つの目安にしたい」と述べた。11月1日時点の人口は1万

公立小35人学級に

政府方針 5年で上限引き下げ

公立小中学校の少人数学級化を巡り、政府は16日、小学校の1学級当たりの上限人数を引き下げ、全学年で35人とする方針を固めた。2021年度から5年かけ、学年ごとに段階的に実施する。関係者への取材で分かった。麻生太郎財務相と萩生田光一文部科学相が17日に来年度予算案について折衝し、正式決定する。一律の引き下げは約40年ぶりで、文科省は来年の通常国会に上限人数を定めた義務教育標準法の改正案を提出する。

現在の上限は小1のみ35人で、小2～中3は40人。来年度に小2を35人とし、その後学年ごとに順次引き下げ、25年度に小学校全学年の35人学級化を実現する。

新型コロナウイルスの感染防止策として教室での3密（密閉、密集、密接）を避けたり、子どもにきめ細かく対応したりするため、教育現場からは少人数学級を求める声が上がっていた。

文科省は来年度予算の概算要求で、少人数学級化は金額を示さない「事項要求」とし、30人学級を目指していたが、財務省と小学校のみの35人学級で折り合った。中学校については今後の検討課題とする。

公立小中の教職員定数は、学級数や児童生徒数で機械的に決まる「基礎定数」と、現場の課題に応じて政策的に配置する「加配定数」がある。上限引き下げで基礎定数が増え、教育委員会が採用計画を立てやすくなるため、教員の安定的配置が可能となる。

2020年（令和2年）12月17日（木曜日）

建設石綿 国の賠償確定

最高裁決定 全国の訴訟で初

建設現場でアスベスト（石綿）を吸い、中皮腫や肺がんなどの健康被害を受けた元労働者や遺族ら約350人が、国と建材メーカーに損害賠償を求めた訴訟で、最高裁第1小法廷（深山卓也裁判長）は国の上告を受理しない決定をした。規制を怠った国の責任を認め、原告327人に計約22億8千万円を支払うよう命じた二審東京高裁判決が確定した。14日付。

札幌地裁など全国9地裁に千人以上が起こした「建設アスベスト訴訟」で国への賠償命令が確定するのは初めて。二審判決は企業に雇われた労働者だけでなく、「一人親方」と呼ばれる個人事業主も救済対象に加えており、同種訴訟や、今後の補償を巡る議論に影響を与えそうだ。

一方で、メーカー側への請求を退けた二審の判断に対し、第1小法廷は双方の意見を聴く弁論を2月25日に開くと決めた。結論を見直し、救済範囲が広がる可能性がある。決定は裁判官5人全員一致の意見。詳しい理由は示さなかった。

2018年3月の二審東京高裁判決は、医学的知見の集積により、国は1972～73年には作業員が石綿関連疾患にかかる危険性を予見できたと指摘。その上で「遅くとも75年10月には、防じんマスク着用を雇用主に義務付け、現場に警告表示をするべきだった」とし、規制権限を行使しなかった国の対応を違法とした。

症状に応じ1人1300万～2500万円の慰謝料を認めたが、安全を確保する責任は主に雇用主にあるとして、国の賠償範囲は3分の1にとどめた。

石綿被害992事業所

19年度認定分 道内は99カ所

厚生労働省は16日、アスベスト（石綿）による健康被害で2019年度に労災認定を受けた人と、石綿救済法に基づく特別遺族給付金の対象となった人が働いていた全国の992事業所名を公表した。このうち道内は99事業所だった。業種別では建設業が60％、製造業が30％を占めた。

道内は建設業が73事業所と7割超に上った。特定できなかった事業所や、公表されない個人事業主を含めて全国で1073事業所だった。公表事業所数は05年の公表開始以降で延べ1万5123事業所となった。

石綿による19年度の労災保険の支給は前年度比96人増の1093人で、5年ぶりに千人を超えた。道内は同26人増の97人。時効（5年）によって労災保険の請求権が消滅した人のための特別遺族給付金を受けたのは全国23人、うち道内は4人だった。

石綿が原因の中皮腫などの病気は30～40年、長くて50年の潜伏期間がある。石綿の輸入は1970～90年代に年間30万㌧とピークを迎えており、厚労省の担当者は「被害は潜伏期間を経て増加傾向にある。不安があれば相談してほしい」と呼びかけている。

厚労省は17、18両日の午前10時～午後5時に電話相談窓口（☎03・3595・3402）を設ける。患者団体「中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会」も17、18両日の午前10時～午後7時にフリーダイヤル（0120・117・554）で相談を受ける。道内では両日、かでる2・7（札幌市中央区北2西7）で面談による相談も受け付ける。（荒谷健一郎）

厚生労働省が発表した道内の労災認定事業所名

労基署名	事業所名
札幌中央	ヤクハン製薬、伊藤組土建、伊藤組木材集成材工場、石本建築事務所札幌オフィス、岡藤石材、日立建機北海道支店（日立建機日本北海道支社）、アクティブ、ニットク、マルヨシ工業、モリグチ、森谷工業、前田建設、池崎工業、菅原工務店、牧内組、戸田建設札幌支店、工藤設備工業、住友不動産新築そっくりさん事業本部北日本事業所戸建北海道エリア、東海興業札幌支店、日本建設札幌支店、武藤建設、北海土木工業、北弘電社工事施工企業組合旭川支部、北信電話設備、北日本金属工業、北盛建設、保原塗装店、丸良テムラ、共栄実業工業、山田鉄筋工業所
札幌東	札幌日産モーター北支店（現札幌日産自動車北支店）、T.M.K、サンプラント札幌支店、ふじ研究所、黒崎建設工業所、森高建設、前田塗装店、清水建業、斉藤塗装、東洋アスベスト、北海道パイプライン工業、北陽産業、丸豊五十嵐工務店、笹村管機工業、川渕板金工業所、町屋商会
函館	大山工作所、日本セメント上磯工場（現太平洋セメント上磯工場）、函館ドック函館造船所（現函館どつく函館造船所）、函館工機、緑電工業、テイム、尚角社、小松室内装備、長谷川工業、丸清佐藤建設、奈良建築設備、堀工業所
小樽	小樽設備
岩見沢	オーツカ、ミナミ工業
旭川	インテリアセンター（現カンディハウス）、熊坂工芸、大東電気工事、創成社、北川組
帯広	水野左官工業所、杉山塗装店
滝川	常盤木材、札幌電設工事、佐藤建設、斉藤工務店
北見	トミヤマデンキ、北開工業、マルミ塗装、広田建設、北洋電設
室蘭	中卸商会室蘭出張所、日本製鋼所室蘭製作所（現日本製鋼所素形材エンジニアリング事業部）、厚生年金事業振興団登別厚生年金病院（地域医療機能推進機構登別病院）、日鋼特機（現日鋼特機室蘭事業所）、函館ドック室蘭製作所（現函館どつく室蘭製作所）、楢渕建設（現楢渕）、高野工務店、沢田工務店
釧路	釧路市医師会釧路市医師会病院、光商会、深瀬室内工業、中央防災システム、日本防水総業釧路出張所
名寄	田村組、得能塗装店、谷建設
稚内	稚内機船漁業協同組合、志賀組
苫小牧	フランスベッド北海道工場（フランスベッド）、大昭和製紙白老工場（現日本製紙白老工場）、協栄シール、舛森組

街に元気を 電飾の草原

そら散歩

北見赤十字病院前の公園で輝くイルミネーション＝11日（許可を得て小型無人機から撮影、写真3枚を合成）

【北見】小型無人機（ドローン）を空に浮かべると、撮影用モニターの画面いっぱいに「電飾の草原」が広